

## ◎ 平成19年度防衛施設学会総会報告

第1号議案 平成19年度事業報告（平. 19. 4. 1. ～20. 3. 31.）

### 1 概要

平成19年度は、歴史的建造物及び津波について調査研究を行うとともに、年次研究発表会兼特別講演会を1回、見学会を4回開催した。

また、会員数は20年3月末現在で、正会員389名、賛助会員16社である。

### 2 調査研究部門

以下の2部会が活動

- ・ 歴史的建造物保存技術部会

歴史的建造物の現状把握・調査指針を作成するとともに、海上自衛隊広報室などに手続きの上、呉地方総監部及び江田島第一術科学校において資料収集・写真撮影を行い、部会成果品として整理した。

また、呉市商工観光部等の協力を得て、記録集の出版・一般販売を準備。

- ・ 防災技術部会

最近の国内外の大規模津波情報等を収集・整理するとともに、沿岸部の自衛隊基地における津波の被害予測及び被害軽減策などについて調査・研究した。

### 3 出版部門

以下のとおり、2種類を出版した。

- ・ 学会誌

第5号を平成19年4月に、第6号を同11月に出版し、各々、全会員等に無償配布した。

- ・ 年次研究発表会講演概要集

平成19年度年次研究発表会の開催に合わせ、平成19年11月に講演概要集を出版し、発表会当日、有償配布した。

#### 4 総務部門

- ・ 総会

平成19年5月11日、ハートイン乃木坂にて開催。144名が出席（うち、委任状116名）し、平成18年度事業報告及び収支報告を承認した。また、役員会から平成19年度事業計画等が報告された。

- ・ 見学会

以下の通り4回開催した。なお、うち2回は初めて地方で開催した。

第1回： 期 日 平成19年7月27日  
場 所 会場自衛隊横須賀地方総監部、(海上自衛隊の船で横須賀湾を一周)  
参加者数 37名

第2回： 期 日 平成19年9月13日  
場 所 海上自衛隊第1術科学校、呉地方総監部、くじら館、大和ミュージアム  
参加者数 24名

第3回： 期 日 平成19年11月20日  
場 所 米軍横田飛行場、防衛省航空装備研究所（立川）  
参加者数 40名

第4回： 期 日 平成20年2月29日  
場 所 佐世保地方総監部、(海上自衛隊の船で佐世保湾を一周) 米軍佐世保基地、針尾通信等、海上自衛隊佐世保資料館

- ・ 年次研究発表会兼特別講演会

平成19年12月14日、新宿区立歴史博物館講堂において年次研究発表会と特別講演を並催し、74名が参加した。発表は以下の4部門にグループ分けして行い、発表内容は講演概要集に取り纏め、当日、有償配布した。

また、研究発表の後、「新エネルギー・燃料電池の現状について」と題して新日本石油（株）FC事業部副部長の尾上清明氏による特別講演が行われた。

- 第1部 防災・減災技術#1
- 第2部 防災・減災技術#2
- 第3部 爆発・テロ関連技術
- 第4部 環境・エネルギー関係

- ・ 会員状況等

会員数は20年3月末日現在、正会員389名、賛助会員17社であり、この1年間で正会員が28名、賛助会員が2社純減した。

- ・ 会員名簿

入会申込書には、審査に必要との判断から、生年月日、最終学歴、専門分野等を記入して貰っているが、個人情報の保護及び事務の簡素化の観点から、承認後の保存データは以下の3点のみとした。

- ① 氏名
- ② 連絡先（〒番号、住所、メールアドレス、電話、FAX）
- ③ 現在の所属

- ・ 役員会

役員会を全4回開催した。

- ・ 総務事務

本学会への電話、FAX、メール、郵便物等への対応業務、会員との通信連絡、会員名簿の整理、会費納入状況の把握、会費督促事務、ホームページの維持・更新などの事務を円滑に実施するため、これらの補助業務を（株）大應に委託した。

2号議案 平成19年度決算報告

(1) 総括

単位：円

収入合計	3,086,461	支出合計	2,415,190
		次期繰越金	671,271
総合計	3,086,461	総合計	3,086,461

(2) 収入の部詳細

単位：円

科 目	金 額
1. 会費	
正会員	970,000
賛助会員	750,000
2. 助成金	
防衛調達基盤整備協会	500,000
3. その他	
研究発表会参加費	106,000
見学会参加費	580,500
研究発表会懇親会参加費	108,000
総会懇親会参加費	141,000
学会誌広告掲載料	25,000
雑収入	10,796
当期収入合計 (A)	3,191,296
前期繰越金	△104,835
収入合計 (B)	3,086,461

(3) 支出の部詳細

単位：円

科 目	金 額
1. 総務補助業務委託費	
上半期 (4-9 月分)	446,250
下半期 (10-4 月分)	535,500
2. 学会誌等出版事業費	
学会誌第 6 号	333,375
研究発表会講演概要集	73,500
3. 研究発表会事業費	
会場費	8,000
講師謝金	10,000
懇親会費	132,100
4. 見学会事業費	
交通費	305,686
昼食代・お茶代	229,950
見学先土産代等	19,160
5. 総会・役員会事業費	
会場費	60,060
懇親会費	191,100
6. 役員会会場費	41,463
7. 委員会・部会活動費	1,540
8. その他	27,506
当期支出合計 (C)	2,415,190
当期収支差額 (A) - (C)	776,106
次期繰越金 (B) - (C)	671,271

### 第3号事案 会員の除名

再三の督促にもかかわらず110名が平成18年度、19年度の2年間の会費を滞納している。これらの者については会費納入の意志がないものとして、規約第10条に基づき除名することが提案され、承認された。

### 第4号事案 役員の交代

田中秀明理事が国外に長期出張し、その職を全うすることが出来ないため職を離れ、規約第12条に基づき、渡邊一浩幹事を理事に選出した。

## ◎ 役員会報告1 平成20年度事業計画

### 1 概要

本学会の目的を達成するため、学会の運営基盤を固めるとともに、防衛施設技術に関する調査研究を体系的に推進し、社会貢献に繋がる事業展開を図る。

なお、財政の健全性を維持するため、引き続き、全員参加事業等に対する補助を行わず、各活動の独立採算性を推進・維持する。

### 2 調査研究部会の活動

現在、6部会が設置されているが、5部会で以下の活動を予定。

#### (1) 環境・エネルギー技術部会

最新の環境・エネルギー技術関連情報を幅広く収集・整理し、自衛隊における地球温暖化ガスの削減、燃料電池及び新エネルギー技術の活用、省エネ診断基準等について調査研究を行なう。

#### (2) 歴史的建造物保存技術部会

自衛隊の基地等に現存する歴史的建造物を調査・研究し、今後の活用保存の可能性、保存の在り方等を検討するとともに、永久保存、記録保存等を行う。

また、7月末を目途に、部会成果を「歴史的文化遺産 海上自衛隊施設などの美しい建造物（呉地方総監部・江田島第一術科学校）」（A4変形版、フルカラー約100頁）として出版・販売する予定。なお、定価は1部2,500円とするが、学会本部に直接申し込んだ学会員は2割引きの2,000円とする予定。

(3) 防護施設建設技術部会

火薬等の爆発に対する施設の防護設計についての調査研究を継続する。

(4) 射撃場建設技術部会

環境対応型の射撃場技術についての調査研究を継続する。

(5) 防災技術部会

最近の国内外の大規模災害情報を収集整理し、沿岸部に所在する自衛隊基地における地震・津波災害等の被害予測及び被害防止・軽減策等について調査検討を行う。

3 事業計画

以下の通り計画する。

・ 総会：

1回開催（平成21年5月23日）。

・ 年次研究発表会・講演会：

1回開催（平成20年12月を予定）。

・ 見学会：

全2回実施（1回は首都圏、他の1回は地方）

なお、見学先候補は以下の通り。

首都圏： 富士地区の防衛施設

地方： 沖縄地区の防衛施設

・ 学会誌の発刊：

2回の発刊を予定

第7号 平成20年5月

第8号 平成20年11月

4 会員

正会員及び賛助会員とも減少している状況に鑑み、両者の増強に努める。